

# 新幹線開業を活かした交流人口拡大プロジェクト

道南連携地域

## 【概要・目的】

新幹線開業により見込まれる国内外からの観光客の増加、特に東北・北関東との交流の拡大や近年のアジアを中心とした外国人観光客のインバウンドの増加に対応し、開業効果を最大限に享受するため、地域の魅力の再発見と磨き上げを行い、道南地域の魅力を積極的に発信するとともに、青森県と道南地域の広域観光圏の形成を図ります。

また、北海道縦貫自動車道をはじめとした道路や空港、港湾の整備により交通ネットワークが形成され、併せて障害のある方等に配慮したバリアフリー環境の整備により、観光やスポーツなど様々な分野で他地域との交流を進め、その波及効果によって地域の活力を高めていきます。

## 【施策展開】

### これまでの主な取組実績

#### ■北海道新幹線開業を活かした青森・道南広域観光圏の形成

- 新幹線開業後PRイベント等の実施や青函広域観光エリアの情報発信
- 観光情報や観光商品をワンストップで提供できる観光地域プラットフォームの充実・強化
- 首都圏、東北圏等での食や観光情報のPR
  - ・北海道新幹線「沿線自治体向け特別運賃」の実施協力【連携】
  - ・津軽海峡交流圏事業の継続した実施【連携】
  - ・道南地域の周遊マップの作成【連携】
  - ・北海道新幹線開業後PRを関東・東北の百貨店での北海道物産展で継続実施【連携】
  - ・道南地域の広域観光パンフレットの作成、観光商品の磨き上げの実施【連携】
  - ・教育旅行誘致の取組、冬期誘客の取組【連携】
  - ・生産者による教育旅行受入の環境整備【連携】
  - ・インバウンド集客の機運醸成・受入環境整備に向けたインバウンド集客セミナーの開催、宿泊施設等へのコンサルタント派遣【連携】
  - ・情報発信・PR活動として、コンテンツの充実、旅行博への出展、ニセコ地区の長期滞在インバウンドとの連携等を実施【連携】
  - ・教育旅行受入に関するセミナーの開催【渡島】
  - ・新幹線開業後の観光客の動態を的確に把握し、開業効果が檜山管内全域に及ぶよう、食と観光の取組を実施【檜山】等
- 道南地域の交通ネットワーク整備に向けた取組の推進
  - ・函館～ニセコ間の乗合タクシー（バス）実証運行の実施【渡島】
  - ・道南いさりび鉄道に対する支援の実施【渡島】
- 縄文文化の魅力や価値をPRし、多様な年齢層への理解促進と「縄文ファン」の拡大
  - ・これまでの魅力発信・ファン拡大の取組に加え、メディア等を活用し、地元への働きかけをより一層推進【渡島】
  - ・地域の縄文文化のブランド戦略構築に向けた、地域資源を取り入れたモニターツアーの企画、試行【渡島】
- 障がいのある方などに配慮したバリアフリーレジャーの推進
  - ・観光資源情報等の蓄積・更新するとともに、効果的な情報発信を具体的に検討【檜山】
  - ・受入体制の充実を図るため、セミナーや研修会等を開催【檜山】
  - ・町の観光資源等の状況に合わせた取組を推進するため、各町との連携を強化【檜山】

#### ■北海道新幹線開業を強みとしたスポーツ合宿地としての魅力発信

- 競技関連施設や宿泊施設等の情報発信
- 市町受入体制の構築支援
  - ・渡島西部4町スポーツ合宿誘致協議会が主体となり、以下の取組を推進【渡島】
    - 所要経費、経済効果等を検証するモデル事業を実施
    - 各町の地域資源を整理し、他地域にはない新たな魅力を持つ合宿を提案
    - 野球連盟北海道地区連盟や強豪校等との有力団体との関係構築を目指した戦略的PRの実施

### 今年度の主な取組（令和元年度）

#### ■北海道新幹線開業を活かした青森・道南広域観光圏の形成

- 新幹線開業後PRイベント等の実施や青函広域観光エリアの情報発信
- 観光情報や観光商品をワンストップで提供できる観光地域プラットフォームの充実・強化
- 首都圏、東北圏等での食や観光情報のPR
  - ・北海道新幹線「沿線自治体特別運賃」を活用したツアー、縄文親子モニターツアーの実施【連携】
  - ・体験観光勉強会、教育旅行の現地調整を担う人材育成研修の開催【連携】
  - ・北海道方面変更に関心のある学校訪問の実施（東北、首都圏）、誘致実施校の下見等のフォローアップ【連携】
  - ・旅行商談会で青函広域観光エリアの観光情報発信【連携】
  - ・世界料理学会と連動した青函食材見本市を開催【連携】
  - ・青函観光ポスター展開催【渡島】
  - ・津軽海峡交流圏郷土芸能祭への支援【檜山】
  - ・ひやま食の紹介動画作成【檜山】
  - ・北海道物産展を活用した観光プロモーション実施【檜山】
  - ・インバウンド対応の専門家や在日外国人などのアドバイザーを派遣【渡島】
  - ・アドベンチャートラベルセミナー、外国語ガイド育成研修会を開催【渡島】
  - ・海外のメディアやエージェントを招聘してのファミドリップを実施【渡島】
- 道南地域の交通ネットワーク整備に向けた取組の推進
  - ・道南いさりび鉄道に対する支援の実施【渡島】
  - ・函館～ニセコ間乗り合いバス（タクシー）実証運行の実施【渡島】
  - ・バス・鉄道・フェリー事業者が連携し、グーグルマップを活用した地域公共交通実証実験の実施【渡島】
- 世界遺産登録に向けた地域における機運醸成並びに観光資源としての活用の促進
  - ・縄文PRパネル展の実施【渡島】
  - ・ゲートウェイ広告スペースを活用した世界遺産登録PR横断幕掲示【渡島】
  - ・公共交通機関広告スペースを活用した世界遺産登録PR中吊り広告掲示【渡島】
  - ・縄文PRトークショー（JOMONカフェ）の開催【渡島】
  - ・はこだてカルチャーナイト体験プログラムの開催
- 障がいのある方などに配慮したバリアフリーレジャーの推進
  - ・PR素材を作成し、道内外の障がい者の多く集まるイベント等にて、檜山管内のバリアフリーレジャーの取組をPR【檜山】
  - ・作成したPR素材を全国の障がい者観光を支援する組織や、道内の観光案内所等で掲示【檜山】
  - ・地域住民を対象とした「地元観光体験型の講演会」や「旅行観光サービスと介護福祉サービスの知識・技術取得講座」を開催【檜山】

#### ■北海道新幹線開業を強みとしたスポーツ合宿地としての魅力発信

- 競技関連施設や宿泊施設等の情報発信
- 市町受入体制の構築支援
  - ・渡島西部4町スポーツ合宿誘致協議会総会・幹事会への参加【渡島】
  - ・合宿ガイドブックを作成【渡島】

# 新幹線開業を活かした交流人口拡大プロジェクト

道南連携地域

## 今後の取組を進める上での主な課題

### ■北海道新幹線開業を活かした青森・道南広域観光圏の形成

- 新幹線開業後PRイベント等の実施や青函広域観光エリアの情報発信
- 観光情報や観光商品をワンストップで提供できる観光地域プラットフォームの充実・強化
- 首都圏、東北圏等での食や観光情報のPR
  - ・食を通じた観光地域づくり(ガストロミーツーリズムの振興)が必要【渡島】
  - ・ワインなど道南の風土を生かした食材のブランディングが必要【渡島】
  - ・交流人口の拡大のため津軽海峡交流圏の形成促進が必要【檜山】
  - ・地域の特性を活かした着地型観光の推進による受入体制の整備【檜山】
- 道南地域の交通ネットワーク整備に向けた取組の推進
  - ・交通ネットワーク整備促進のための、各交通機関の利用促進が必要【渡島】
- 世界遺産登録に向けた地域における機運醸成並びに観光資源としての活用の促進
  - ・世界遺産登録に係る認識を地域に浸透させることが必要【渡島】
  - ・観光資源としての縄文文化のPRが必要【渡島】
  - ・縄文文化に関連する観光旅行商品・土産物商品開発や魅力の見せ方に工夫が必要【渡島】
- 障がいのある方などに配慮したバリアフリーレジャーの推進
  - ・観光施設等の受入技術の向上や地域住民の意識醸成などソフト面の充実を図ることが必要【檜山】
  - ・UD観光情報の発信・共有、発信元の一元化が必要【檜山】
  - ・事業の成果や得られた知見、課題等について整理し、民間事業者や地域住民とも情報を共有することが必要【檜山】

## 次年度の取組(令和2年度)

### ■北海道新幹線開業を活かした青森・道南広域観光圏の形成

- 新幹線開業後PRイベント等の実施や青函広域観光エリアの情報発信
- 観光情報や観光商品をワンストップで提供できる観光地域プラットフォームの充実・強化
- 首都圏、東北圏等での食や観光情報のPR
  - ・観光プロモーションや観光商談会に出展【渡島】
  - ・JRと連携した広域観光PRの実施【渡島】
  - ・教育旅行商談会参加や学校等訪問の実施【渡島】
  - ・体験観光勉強会の開催【渡島】
  - ・様々な主体により津軽海峡交流圏の交流連携を促進【檜山】
  - ・オール檜山による道外観光・物産プロモーションを実施【檜山】
  - ・料理人等との産地見学会、道南ワインアカデミーや道の駅等アドバイザー派遣の実施【渡島】
- 道南地域の交通ネットワーク整備に向けた取組の推進
  - ・外国人観光客による地域公共交通の利用促進を図るための交通事業者連携会議の開催【渡島】
  - ・外国人や外国旅行エージェントに対する地域公共交通PRの実施【渡島】
  - ・様々な主体により継続して津軽海峡圏の交流連携を促進【檜山】
- 世界遺産登録に向けた地域における機運醸成並びに観光資源としての活用の促進
  - ・世界遺産登録に向けた気運醸成や観光振興に影響のある地元団体等に対し、縄文関係のトークショー開催【渡島】
  - ・遺産の次世代への継承のファーストステップの仕組みとして、函館市内幼稚園・保育園の年長児を対象に縄文体験出前講座を開催・講座ノウハウ等を提供【渡島】
- 障がいのある方などに配慮したバリアフリーレジャーの推進
  - ・地域が一体となって事業を実施するため、振興局、各町及び関係機関が共通の認識・連携を図るよう推進協議会を引き続き開催【檜山】

### ■北海道新幹線開業を強みとしたスポーツ合宿地としての魅力発信

- 競技関連施設や宿泊施設等の情報発信
- 市町受入体制の構築支援
  - ・連携体制や各町の役割・手順、受入準備等モデル推進・検証事業の実施により見えた課題の解決が必要【渡島】
  - ・北東北をはじめとする新幹線沿線地域の高校等への新幹線の利便性の認知が必要【渡島】

### ■北海道新幹線開業を強みとしたスポーツ合宿地としての魅力発信

- 競技関連施設や宿泊施設等の情報発信
- 市町受入体制の構築支援
  - ・(4町の主体的な事業へ移行)

## 【KPIの状況】

	H26(基準値)	H27	H28	H29	H30	H31(目標年)	進捗率
観光入込客数 (連携地域)	1,162万人	1,194万人	1,373万人	1,273万人	1,319万人	1,440万人	91.6%
(渡島地域)	1,062万人	1,092万人	1,267万人	1,171万人	1,204万人	1,320万人	91.2%
(檜山地域)	100万人	102万人	105万人	102万人	115万人	120万人	95.8%
	H26(基準値)	H27	H28	H29	H30	H31(目標年)	進捗率
スポーツ合宿参加件数 (渡島地域)	265件	257件	286件	286件		290件	98.6%

# 未来へ続くたくましい農林水産業づくりプロジェクト

## 道南連携地域

### 【概要・目的】

道南連携地域は、太平洋と日本海、津軽海峡に囲まれ、バリエティ豊かで特色のある農林水産物に恵まれています。米、馬鈴しょ、野菜、花き、酪農、畜産など地域ごとに特色ある農業、イカ釣り、ホタテやコンブ、アワビ・ナマコの増養殖など多種多様な漁業、ドマツ、スギなどの森林資源を活かした林業など、地域性を活かした農林水産業が持続的に展開されるよう生産強化に取り組むとともに、地域の関係者が連携し、独自性・優位性を有する多様な地場産品の付加価値の向上と販路拡大によりブランド化を進めていきます。また、農林漁業者の減少に対応した担い手の育成・確保やICT等の活用による作業の効率化・省力化を図る取組を進めます。

### 【施策展開】

#### これまでの主な取組実績

#### ■農林水産業の強化とブランド化推進

##### ○高収益な農作物の生産拡大や新規導入の検討及びICT等を活用したスマート農業など最新技術の導入

- ・実証試験(自動換気装置、自動かん水、GPSガイダンス、搾乳ロボット)の実施【渡島】
- ・地域での普及啓発を目的としたスマート農業推進セミナーの開催【渡島】
- ・アスパラガスの栽培技術改善による増収効果実証試験の実施及び生産者へ栽培改善方法の普及、指導【檜山】

##### ○道南スギをはじめとする地域材の利用促進

- ・函館西部地区で実施される「元町バル」に参加し、一般住民等イベント参加者に対し地域材をPR【渡島】
- ・函館洋家具の歴史と地域材をテーマに「地域ブランド「新箱館家具」デザインコンペ2018」を開催し、道南スギを利用した家具ブランドの創出を目指す【渡島】
- ・事業成果と地域材のPRを行う成果発表会を開催【渡島】
- ・「道南スギ利用拡大検討会議」を開催し、建設関係者が必要な時にスギ製品を入手できるシステムづくりを実施【檜山】

##### ○日本海などにおける増養殖漁業の推進拡大

- ・H27～29年度に取り組んだ養殖実証試験等のうち、檜山地区に適した取組に対する支援措置を検討【檜山】

##### ○地域産品の発掘や新商品の磨き上げ、販路拡大のための取組推進

- ・道南地域の独自性・優位性を有する一次産品、加工品の磨き上げを行い、付加価値向上と販路拡大を進めるとともに、道南ブランドの確立に向けた取組を推進する【連携】
- ・高級スーパー等のバイヤーや飲食店を招聘し、商品の磨き上げ、販路拡大を促進【連携】
- ・「世界料理学会」の中で道南地域食の展示見本会を開催【連携】
- ・海外展開にチャレンジする人材・企業の拡大と地域でのノウハウの蓄積を目的に、輸出事務の習得、販路拡大等を支援するゼミを開催【連携】
- ・インバウンド向けの新商品開発支援を目的としたゼミを開催【連携】
- ・丸井今井函館店と連携した物産フェアを開催【渡島】
- ・はこだて・プリ消費拡大推進協議会開催、プリ料理の認知度を向上させるための料理コンテストイベントを開催【渡島】
- ・プリ文化が根付いている富山県の生産・加工・流通・販売状況を調査し、管内生産者らと情報を共有【渡島】

##### ○首都圏、東北圏等での食や観光情報のPR

- ・首都圏・東北圏に向け、青函広域観光エリアの情報発信を実施【連携】

#### 今年度の主な取組（令和元年度）

#### ■農林水産業の強化とブランド化推進

##### ○高収益な農作物の生産拡大や新規導入の検討及びICT等を活用したスマート農業など最新技術の導入

- ・新たな課題に対応した実証試験(自動かん水、GPSガイダンス、搾乳ロボット)の結果の取りまとめ【渡島】
- ・ICT等を活用した地域農業の新スタイルの提案【渡島】
- ・ハウス立径アスパラガスのIoT導入に向けた取組への支援や新たに導入された高収益作物生産に係る生産技術指導支援実施【檜山】
- ・水稻の直播栽培による省力化、小麦等の面積拡大による適正な輪作体系の確立など地域にあった基幹作物の生産技術支援【檜山】

##### ○道南スギをはじめとする地域材の利用促進

- ・デザインコンペの最優秀賞受賞作品について、道南スギにて製品化、無印良品シエスタハコダテ店にて展示販売【渡島】
- ・平成30年度に取得した森林認証材の普及促進を行うため、セミナーや展示会へ出展【渡島】
- ・地元大学生等を中心に函館市内学生向けアパートの基本構想を検討する「学生アパートメント計画コンセプトワーク」開催【渡島】
- ・市内3大学と連携して制作した木製屋台をイベント等で活用、地域材をPRした木質空間を一般向けに周知【渡島】
- ・5年間の事業成果と地域材のPRを行う成果発表会を開催【渡島】
- ・建築関係者と連携し、産業まつりイベントでラックづくりによるPR活動を実施【檜山】

##### ○日本海などにおける養殖漁業の推進拡大

- ・あわび養殖業を主体とした実証事業を実施し、養殖業と他の漁業を組み合わせた複合経営の育成などを実施【檜山】
- ・ニシン資源の造成、放流体制の確立に向けて、協議会が主体となり、100万尾の稚魚生産及び放流を実施【檜山】
- ・「乾燥ナマコ、フリストライナマコ等の流通販路のPR等」、「未利用資源による商品開発」、「鮮度保持の技術普及」の取組実施【檜山】

##### ○地域産品の発掘や新商品の磨き上げ、販路拡大のための取組推進

- ・「道南食のブランドフェア2019」を開催及び「世界料理学会inHAKODATE」に合わせ青森県と連携した「世界食材見本市」を開催【渡島】
- ・ワインの販路、消費拡大に向けたイベント「北海道日本酒とワインのタベ」を開催【渡島】
- ・道南ワインアカデミーを開催【渡島】
- ・札幌市中央卸売市場消費拡大フェアに出展し、来場者にプリフライを提供したほか、レシピ集200部を配布、また、管内水産加工業者が製造した鱈の燻製の試食を実施【渡島】
- ・函館水産高校、調理成果専門学校にプリを提供し、缶詰の製造やレシピ開発に活用【渡島】
- ・平成30年度プリ料理コンテストのレシピを使った料理教室の開催【渡島】

##### ○首都圏、東北圏等での食や観光情報のPR【連携】

- ・管内自治体等と協働し、広域観光の取組を進める【連携】

#### ■農林水産業の担い手対策の推進

##### ○ICT等を活用したスマート農業の推進と高収益作物の生産強化

- ・実証試験(自動換気装置、自動かん水、GPSガイダンス、搾乳ロボット)の実施【渡島】
- ・地域での普及啓発を目的としたスマート農業推進セミナーの開催【渡島】
- ・担い手育成・確保に係る関係機関との研修会を開催し、担い手育成・確保の手法の検討や情報・意見交換会を効果的に実施【檜山】

##### ○漁業や林業の現場体験学習などの実施

- ・地元大学生等を対象としたオープンスクールを開催し、函館西部地区でのフィールドワークや木材加工体験を通じ林業・木材産業への就業意識の向上と地域での就業・定住化を図る【渡島】
- ・知内町モデル事業の成果を踏まえ、管内の市町や高校、林業事業者に対し、各種取組を継続して行う【渡島】
- ・渡島地域一体で林業の担い手確保に取り組むネットワークを構築【渡島】

##### ○農林水産業の就業情報の発信

- ・「おしまぐらし」データベースの更新【渡島】
- ・就業促進フェア等のイベントでPR活動を実施【渡島】

#### ■農林水産業の担い手対策の推進

##### ○ICT等を活用したスマート農業の推進と高収益作物の生産強化

- ・新たな課題に対応した実証試験(自動かん水、GPSガイダンス、搾乳ロボット)の結果の取りまとめ【渡島】
- ・ICT等を活用した地域農業の新スタイルの提案【渡島】
- ・担い手育成・確保のため、関係機関との研修会を開催するとともに、新規就農の受入を先駆的に取り組む地域を対象とした支援の実施【檜山】
- ・農業法人の互いの技術や情報の交換、経営向上のための研修を実施【檜山】
- ・農福連携の取組を推進するための研修を実施【檜山】

##### ○漁業や林業の現場体験学習などの実施

- ・渡島地域林業担い手確保推進協議会による、渡島地域が一体となった林業担い手確保に向けた取組を推進(PRパンフレットの作成、職場見学等の実施、インターンシップ受入に向けた取組、道立北の森づくり専門学院地域実習受入に向けた道南地域関係機関支援協議会との連携等)【渡島】

##### ○農林水産業の就業情報の発信

- ・各市町や漁協等と連携しウェブサイトの更新【渡島】
- ・就業促進フェア等関連するイベントでのPR活動【渡島】
- ・渡島管内において一次産業PRイベントを開催【渡島】

# 未来へ続くたくましい農林水産業づくりプロジェクト

## 道南連携地域

### 今後の取組を進める上での主な課題

#### ■農林水産業の強化とブランド化推進

- 高収益な農作物の生産拡大や新規導入の検討及びICT等を活用したスマート農業など最新技術の導入
  - ・これまでの実証試験の成果を取りまとめ、ICT等を活用した地域農業の新スタイルを提案することにより、生産者の意識啓発を進めることが必要【渡島】
  - ・小区画ほ場が多く、作業効率が悪く大規模化の支障となるため、水田の基盤整備が必要【檜山】
  - ・農業者の高齢化等により管理作業が負担となっているため、同程度の生産を維持するスマート農業の導入検討が必要【檜山】
  - ・新たな高収益作物の導入の検討が必要【檜山】
- 道南スギをはじめとする地域材の利用促進
  - ・「はこだて森林認証推進協議会」と連携し、地域材のブランド化を図り、普及PRを行うことが必要【渡島】
- 日本海などにおける増養殖漁業の推進拡大
  - ・養殖期間が長い魚種に対する安定的かつ継続的な支援実施が必要【檜山】
  - ・ニシンの資源を一定程度造成するには、種苗放流などの継続的な取組が必要【檜山】
  - ・地域の水産資源の付加価値向上、ブランド化や未利用水産資源等の活用に取り組む必要【檜山】
- 地域産品の発掘や新商品の磨き上げ、販路拡大のための取組推進
  - ・一般消費者のプリに対する認知度のさらなる向上が必要【渡島】
  - ・プリ製品や外食メニューなどの販売アイテムの拡大が必要【渡島】
  - ・渡島管内のプリの品質特性を把握したうえで販促活動と商品開発が必要【渡島】
  - ・コンテストに応募のあったレシピの有効活用が必要【渡島】
- 首都圏、東北圏等での食や観光情報のPR
  - ・秋冬の観光客入込数を増やすことが必要【渡島】

### 次年度の取組(令和2年度)

#### ■農林水産業の強化とブランド化推進

- 高収益な農作物の生産拡大や新規導入の検討及びICT等を活用したスマート農業など最新技術の導入
  - ・ロボット技術やICTを活用したスマート農業の普及拡大促進【渡島】
  - ・渡島型農福連携推進モデルの構築など農福連携の取組促進【渡島】
  - ・次世代を担う人材育成のための、高校等と連携した出前事業や食育授業の実施、青年・女性農業者の経営力向上研修会の開催【檜山】
- 道南スギをはじめとする地域材の利用促進
  - ・道南スギ産地形成推進協議会と連携し、道南スギ利用拡大に向けた検討会やPRイベント等により、道南スギの利用拡大に取り組む【渡島】
  - ・地域材の認知度向上に向け、多様な主体と連携し普及PRを進めるとともに森林認証を活用したブランド化の推進、商業施設における木育の推進を図る【渡島】
- 日本海などにおける増養殖漁業の推進拡大
  - ・100万尾種苗生産、放流体制の確立に向けた道の支援については令和2年以降も継続して実施【檜山】
  - ・地域の関係者による増殖事業の進め方や資源管理など、資源造成の取組を促進【檜山】
- 地域産品の発掘や新商品の磨き上げ、販路拡大のための取組推進
  - ・民間企業・教育機関などと連携した新商品・新メニューの開発【渡島】
  - ・水産加工業者や外食店、旅館などに対して、原料面や販売面などでの支援を強化し、販売アイテムの拡大を図る【渡島】
  - ・さらなるプリファンの獲得につなげるためのPRイベント、料理教室を開催【渡島】
  - ・前年度の測定結果との比較や、養殖プリとの比較などを踏まえた品質特性の把握【渡島】
- 首都圏、東北圏等での食や観光情報のPR
  - ・教育旅行商談会参加や学校等訪問等の実施【渡島】

#### ■農林水産業の担い手対策の推進

- ICT等を活用したスマート農業の推進と高収益作物の生産強化
  - ・これまでの実証試験の成果を取りまとめ、ICT等を活用した地域農業の新スタイルを提案、生産者の意識啓発の促進が必要【渡島】
  - ・小規模な檜山農業に適した省力化技術の実用化と費用対効果の確保が必要【檜山】
- 漁業や林業の現場体験学習などの実施
  - ・令和2年度に4開校予定の「道立北の森づくり専門学院」における、地域実習受入に向けた道南地域関係機関支援協議会の取組に対する、振興局の継続的な支援が必要【渡島】
  - ・管内高校生を中心とした、林業の認知度向上に向けた効果的な取組の検討が必要【渡島】
- 農林水産業の就業情報の発信
  - ・各市町や漁協と連携し「おしまぐらし」ウェブサイトの更新が必要【渡島】

#### ■農林水産業の担い手対策の推進

- ICT等を活用したスマート農業の推進と高収益作物の生産強化
  - ・農福連携の取組促進や就農フェアの実施など農業を支える担い手の育成・確保に資する取組への支援【渡島】
  - ・担い手の育成を支援する指導農業士会・農村女性グループの活動を継続支援【檜山】
  - ・農業法人の互いの技術や情報の交換、経営向上のための研修を実施【檜山】
- 漁業や林業の現場体験学習などの実施
  - ・漁業者の労働力の確保等を目的としたマッチングフェアを函館市内で開催すると共に、希望者が漁労作業体験を行うことが出来るための体制作りを実施【渡島】
  - ・就業体験等による新規就業者の促進【渡島】
- 農林水産業の就業情報の発信
  - ・ウェブサイトの更新【渡島】

### 【KPIの状況】

		H26(基準値)	H27	H28	H29	H30	H31(目標年)	進捗率
農林水産業新規就業者数	(連携地域)	110人	118人	88人	86人	103人	126人	68.2%
	(渡島地域)	96人	99人	70人	62人	84人	110人	56.3%
	(檜山地域)	14人	19人	18人	24人	19人	16人	150.0%
		H26(基準値)	H27	H28	H29	H30	H31(目標年)	進捗率
道南スギの道内向け年間製材出荷量	(渡島地域)	4,564m <sup>3</sup>	5,465m <sup>3</sup>	5,255m <sup>3</sup>	8,419m <sup>3</sup>	8,750m <sup>3</sup>	5,400m <sup>3</sup>	162.0%
		H26(基準値)	H27	H28	H29	H30	H31(目標年)	進捗率
新たに養殖に取り組む漁業者数	(檜山地域)	—	11人	22人	27人	28人	30人	93.3%

# 地域の強みを活かした産業活性化・雇用創出プロジェクト

道南連携地域

## 【概要・目的】

道南連携地域では、函館周辺地域に大学等の高等教育機関や試験研究機関等が集積しており、これらの機関と地域の企業等との連携による共同研究が進められています。また、北海道新幹線の函館北斗駅や函館空港、函館港等の国内外に開かれた交通・物流の拠点を有するほか、高規格幹線道路等の高速交通ネットワークの形成も進められています。これらの強みを活かすべく、「食」や「観光」など、地域を支える産業の振興や企業誘致を推進するとともに、地元中小企業の事業活動の活性化を図り、若年層を中心とした地元への定着及び雇用の創出を図ります。

## 【施策展開】

### これまでの主な取組実績

#### ■地域の強みを活かした企業誘致の推進や地場産業の振興

- 産学官連携成果品や地域資源・立地条件の情報発信
  - ・渡島合同庁舎1階道民ホール等を活用し、産学官連携の成果品を展示、また、北海道工業技術センターと連携し、展示内容の見直しを実施【渡島】
- 地域資源を活用した食品産業などの企業誘致推進支援
  - ・地域未来投資促進法基本計画策定地域である函館市・北斗市・七飯町と情報交換を実施【渡島】
  - ・地域未来投資促進法対象企業訪問等で各種支援制度の情報提供実施【渡島】
  - ・立地企業フォローアップ調査を行い、管内の企業立地活動の課題や改善点について、各町及び各商工会との情報共有実施【檜山】
- 1次・2次・3次産業間の連携や販路拡大支援などによる地場産業の振興
  - ・新たに商品デザイン等の専門家や高級スーパー等のバイヤーや飲食店を招へいし、商品の磨き上げ、販路拡大を促進する「商品展示会」「個別相談・商談会」開催【連携】
  - ・丸井今井函館店、イトーヨーカ堂函館店と連携した物産フェアを開催【渡島】
  - ・「渡島管内の技術・製品開発企業リンク集」等の開設【渡島】
  - ・はこだて・プリ消費拡大推進協議会開催、プリ料理の認知度を向上させるための料理コンテスト等イベントを開催【渡島】
  - ・プリ文化が根付いている富山県の加工・流通・販売状況を調査し、管内生産者らと情報を共有【渡島】

#### ■産業振興との一体的な展開による雇用の創出及び若年層の定着

- 農林水産業の新規就業者確保に向けた取組の推進
  - ・実証試験(自動換気装置、自動かん水、GPSガイダンス、搾乳ロボット)の実施【渡島】
  - ・地域での普及啓発を目的としたスマート農業推進セミナーの開催【渡島】
  - ・新規就農の受入を先駆的に取り組む地域を集中的に支援【檜山】
  - ・渡島管内高校生・大学生を対象とした、コンプ養殖漁業の漁業体験学習実施【渡島】
  - ・渡島管内全市町、森林組合、林業関係団体、教育局、国、試験研究機関で構成する「渡島地域林業担い手確保推進協議会」を設置(H31.1)【渡島】
  - ・知内町をモデル地区に立ち上げていた「知内町林業担い手確保推進協議会」が「知内町産業担い手対策連絡協議会」に発展(農・林・水・商工の各部会設置)【渡島】
- 企業に対する就業環境の改善支援と雇用者に対する地元企業の魅力発信
  - ・若者の地元産業への就業定着のため、渡島地域若年人材地元就職支援事業(企業見学会、セミナー等)の実施【渡島】
  - ・在学中に地元企業に対する理解促進を図り、若者の地元就職や地元定着を図る(じもと×しごと発見フェア)【渡島】
- 就業情報の発信と体験学習を通じた理解促進
  - ・各市町と連携し専用ホームページ「おしまぐらし」のデータベースを更新【渡島】
  - ・札幌市で開催された就農フェアで「おしまぐらし」のPR活動実施【渡島】
  - ・地元の大学生等を対象としたオープンスクールを開催し、函館西部地区でのフィールドワークや木材加工体験を通じ林業・木材産業への就業意識の向上と地域での就業・定住化を図る【渡島】

### 今年度の主な取組(令和元年度)

#### ■地域の強みを活かした企業誘致の推進や地場産業の振興

- 産学官連携成果品や地域資源・立地条件の情報発信
  - ・渡島合同庁舎1階道民ホール等を活用し、産学官連携の成果品を展示【渡島】
- 地域資源を活用した食品産業などの企業誘致推進支援
  - ・地域未来投資促進法計画策定地域(函館市・北斗市・七飯町、森町)と情報交換を行い、支援対象となる企業に幅広く周知【渡島】
  - ・北海道産業振興条例に基づく企業立地促進費補助金について、市町との情報交換や企業訪問を密に行い、助成制度を周知【渡島】
  - ・立地企業フォローアップ調査や、企業立地情報の発信を実施【檜山】
- 1次・2次・3次産業間の連携や販路拡大支援などによる地場産業の振興
  - ・「道南食のブランドフェア2019」を開催及び「世界料理学会inHAKODATE」に合わせ青森県と連携した「世界食材見本市」を開催【渡島】
  - ・ワインの販路、消費拡大に向けたイベント「北海道日本酒とワインのタベ」を開催【渡島】
  - ・道南ワインアカデミーを開催【渡島】
  - ・札幌市中央卸売市場消費拡大フェアに出展し、来場者にプリフライを提供したほか、レシピ集200部を配布、また、管内水産加工業者が製造した鱈の燻製の試食を実施【渡島】
  - ・函館水産高校、調理成果専門学校にプリを提供し、缶詰の製造やレシピ開発に活用【渡島】
  - ・平成30年度プリ料理コンテストのレシピを使った料理教室の開催【渡島】

#### ■産業振興との一体的な展開による雇用の創出及び若年層の定着

- 農林水産業の新規就業者確保に向けた取組の推進
  - ・新たな課題に対応した実証試験(自動かん水、GPSガイダンス、搾乳ロボット等)結果のとりまとめ【渡島】
  - ・ICT等を活用した地域農業の新スタイルの提案【渡島】
  - ・担い手育成・確保に係る関係機関との研修会を開催、新規就農の受入を先駆的に取り組む地域を対象に支援実施【檜山】
  - ・農福連携の取組を推進するための研修を実施【檜山】
  - ・新規漁業就業者に繋がるための体験実施メニューの検討【渡島】
  - ・木製家具製作体験等を通じ林業・木材産業への理解を深め、新規就労者の促進を図るため、地元大学生等を対象にしたワークショップを開催【渡島】
- 企業に対する就業環境の改善支援と雇用者に対する地元企業の魅力発信
  - ・若者の地元産業への就業定着のため、渡島地域人材確保・定着促進事業(企業見学バスツアー、企業向けセミナー、地元のおしごと紹介フェア)の実施【渡島】
  - ・渡島檜山地域中小企業支援ネットワーク会議により、各地域や機関における取組状況や課題、各支援メニュー等について情報共有を行い、各機関の連携強化を図った【渡島】
- 就業情報の発信と体験学習を通じた理解促進
  - ・各市町と連携しウェブサイト「おしまぐらし」の更新【渡島】
  - ・地元大学生等を中心に函館市内学生向けアパートの基本構想を検討する「学生アパートメント計画コンセプトワーク」開催【渡島】

# 地域の強みを活かした産業活性化・雇用創出プロジェクト

## 道南連携地域

### 今後の取組を進める上での主な課題

#### ■地域の強みを活かした企業誘致の推進や地場産業の振興

- 産学官連携成果品や地域資源・立地条件の情報発信
  - ・展示品は定期的な入れ替えが必要【渡島】
- 地域資源を活用した食品産業などの企業誘致推進支援
  - ・地域未来投資促進法施行から間もないため、企業側の認知度の向上が必要【渡島】
  - ・道の助成制度の認知向上が必要【渡島】
- 1次・2次・3次産業間の連携や販路拡大支援などによる地場産業の振興
  - ・定期的に掲載内容を見直す必要がある【渡島】
  - ・一般消費者のプリに対する認知度のさらなる向上が必要【渡島】
  - ・プリ製品や外食店メニューなどの販売アイテムの拡大が必要【渡島】
  - ・渡島管内のプリの品質特性を把握したうえでの販促活動と商品開発が必要【渡島】
  - ・コンテストに応募のあったレシピの有効活用が必要【渡島】

#### ■産業振興との一体的な展開による雇用の創出及び若年層の定着

- 農林水産業の新規就業者確保に向けた取組の推進
  - ・これまでの実証試験の成果を取りまとめ、ICT等を活用した地域農業の新スタイルを提案することにより、生産者の意識啓発を進める必要がある【渡島】
  - ・小規模な檜山農業に適した省力化技術の実用化と費用対効果の確保が必要【檜山】
  - ・新規就農の優良事例作成による、檜山の就農事例のモデル化が必要【檜山】
- 企業に対する就業環境の改善支援と雇用者に対する地元企業の魅力発信
  - ・就職段階でのミスマッチによる早期離職の解消が必要【渡島】
  - ・若者が地元で能力を十分に発揮することができる職場環境の整備が必要【渡島】
  - ・外国人を含む多様な人材の確保が必要【渡島】
  - ・引き続き、道南地域全体で創業し易い環境を整える必要がある【渡島】
- 就業情報の発信と体験学習を通じた理解促進
  - ・平成27年度に開設した「おしまぐらし」ウェブサイトの更新が必要【渡島】
  - ・新規漁業就業者に繋げるための実施メニューや参加者等の検討が必要【渡島】

### 次年度の取組(令和2年度)

#### ■地域の強みを活かした企業誘致の推進や地場産業の振興

- 産学官連携成果品や地域資源・立地条件の情報発信
  - ・立地企業フォローアップ調査の実施【渡島】
- 地域資源を活用した食品産業などの企業誘致推進支援
  - ・関係市町と情報交換を行うとともに、企業訪問時などに法制度の説明や支援策活用に関する指導助言を継続していく【渡島】
  - ・市町との情報交換や企業訪問を密に行い、助成制度の周知に努める【渡島】
- 1次・2次・3次産業間の連携や販路拡大支援などによる地場産業の振興
  - ・函館地域産業振興財団との連絡を密にして、効率的な情報発信を図る【渡島】
  - ・民間企業・教育機関などと連携した新商品・新メニューの開発。特に缶詰「ぶりのオイル漬」のマーケット開拓を目指す【渡島】
  - ・前年度の測定結果との比較や、養殖プリとの比較などを踏まえた品質特性の把握【渡島】

#### ■産業振興との一体的な展開による雇用の創出及び若年層の定着

- 農林水産業の新規就業者確保に向けた取組の推進
  - ・漁業者の労働力の確保等を目的としたマッチングフェアを函館市内で開催すると共に、希望者が漁作業体験を行うことが出来るための体制作りを実施【渡島】
  - ・就農フェアの開催など農業を支える担い手の育成・確保【渡島】
  - ・農福連携の取組を推進するための研修を実施【檜山】
- 企業に対する就業環境の改善支援と雇用者に対する地元企業の魅力発信
  - ・人手不足が懸念される飲食業・宿泊業を対象に、若年人材や外国人人材を含む多様な人材の確保・定着を促進する事業を展開【渡島】
  - ・道経済部中小企業課が運営(事務局)する「地域中小企業支援ネットワーク」を活用し、引き続き、各機関との連携強化を図りながら創業しやすい環境を整備【渡島】
- 就業情報の発信と体験学習を通じた理解促進
  - ・デザイン及び木製品の製作を学ぶワークショップ等を開催し、製品開発と普及PRを実施【渡島】
  - ・商業施設と連携した木育の推進【渡島】

### 【KPIの状況】

		H26(基準値)	H27	H28	H29	H30	H31(目標年)	進捗率
個別相談会等での具体的な商談打診件数	(連携地域)	50件	55件	55件	66件	55件	260件 (H27~H31累計)	88.8%
		H26(基準値)	H27	H28	H29	H30	H31(目標年)	進捗率
農林水産業新規就業者数	(連携地域)	110人	118人	88人	86人	103人	126人	81.7%
	(渡島地域)	96人	99人	70人	62人	84人	110人	76.4%
	(檜山地域)	14人	19人	18人	24人	19人	16人	118.8%

# 地域で支え合う安全・安心なまちづくりプロジェクト

## 道南連携地域

### 【概要・目的】

道南連携地域は、北海道南西沖地震や駒ヶ岳噴火の大きな自然災害を経験しており、地域の自主防災組織の方々や地域防災マスター等のネットワークづくり、過去の地域の歴史から災害を学び明日へ活かす被災経験の伝承、防災活動に関する情報提供の充実などを通じて、地域の防災体制の向上を図ります。

また、地域医療機関の機能強化と連携により、効率的かつ質の高い医療提供体制と地域包括ケアシステムの構築を図るとともに、ライフステージに応じた子育て支援施策を展開し、安心して暮らせる環境を整備します。あわせて、救急患者の迅速な搬送にも有効である高規格幹線道路の整備を促進するなど、地域の生活基盤を確立し、道南の多様な魅力、特性を活かした移住・定住の取組を推進します。

### 【施策展開】

#### これまでの主な取組実績

#### ■防災体制の向上と安全・安心なまちづくりの推進

##### ○地域防災体制の強化と住民の防災意識の向上

- ・ 渡島総合振興局・檜山振興局防災訓練実施【連携】
- ・ 防災体制の構築については、防災関係機関の担当者会議開催をはじめ、陸上自衛隊第11旅団との災害派遣に係る勉強会など、各防災関係機関と意見交換を行い、減災への体制充実を図った【渡島】
- ・ 災害対策地方本部指揮室設置訓練を実施【渡島】
- ・ 各町や各町関係団体へのせわすき・せわやき隊の勧奨等を実施【檜山】
- ・ 土砂災害警戒区域等の指定に係る危険箇所の基礎調査を実施【渡島・檜山】  
(渡島管内266箇所、檜山管内145箇所 計411箇所)(H30年度実施分迄)
- ・ 土砂災害警戒区域等の指定【渡島・檜山】  
(渡島管内188箇所、檜山管内89箇所 計277箇所)(H30年度実施分迄)

#### 今年度の主な取組(令和元年度)

#### ■防災体制の向上と安全・安心なまちづくりの推進

##### ○地域防災体制の強化と住民の防災意識の向上

- ・ 渡島総合振興局・檜山振興局防災訓練実施(指揮室訓練を含む)【渡島・檜山】
- ・ 地域防災マスターフォローアップ研修会【渡島】
- ・ 1日防災学校【渡島・檜山】
- ・ せわすき・せわやき隊の各町・各町関係団体への勧奨等を実施【檜山】
- ・ 防災関係機関の担当者会議や陸上自衛隊第11旅団と勉強会などを活用し、各防災関係機関と情報共有を実施【渡島・檜山】
- ・ 土砂災害警戒区域等の指定に係る危険箇所の基礎調査実施及び警戒区域等の指定を着実に推進【渡島・檜山】

#### ■道南の多様な魅力を活かした生活・定住環境づくりの促進

##### ○就業情報と生活・住宅情報を一元化して発信

- ・ 就業体験モニターツアー実施【渡島】
- ・ 就業体験モニター募集用Webページの更新【渡島】

##### ○地域関係機関での移住・定住情報の共有

- ・ 渡島管内地域創生担当者会議を開催し、移住・定住をテーマに意見交換を実施【渡島】

##### ○地域包括ケアシステムの構築などによる高齢者福祉対策の推進

- ・ 地域包括支援意見交換会等の実施【渡島】
- ・ 地域包括支援センター連絡会議等の開催【檜山】

##### ○医師・看護師など医療従事者確保に向けた取組の推進

- ・ 地域における看護師確保及び定着を図るため、セミナーを開催【檜山】
- ・ ポスター配付によるセミナー開催の周知【檜山】

##### ○ライフステージに応じた子育て環境整備の推進

- ・ 渡島地区少子化対策圏域協議会結婚支援専門部会の開催【渡島】

##### ○障がい者などに配慮したバリアフリーレジャーの推進

- ・ 就労支援事業所等による展示・販売の場を設け、障がい者の社会参加と自立促進を支援【檜山】
- ・ 発達障がいに関する講演、パネル展示、檜山圏域障がい者が暮らしやすい地域づくり委員会の開催を行い、一般の方々への障がいに対する理解促進、障がい者福祉制度を周知・啓発【檜山】

#### ■道南の多様な魅力を活かした生活・定住環境づくりの促進

##### ○就業情報と生活・住宅情報を一元化して発信

- ・ 就業体験モニター事業Webページの更新及びSNS等を活用した事業周知【渡島】

##### ○地域関係機関での移住・定住情報の共有

- ・ 管内市町と連携し、首都圏で開催された移住イベントに出展【渡島】

##### ○地域包括ケアシステムの構築などによる高齢者福祉対策の推進

- ・ 地域包括支援意見交換会、認知症地域支援推進員ネットワーク会議、地域ケア会議等市町支援の実施【渡島】
- ・ 地域包括支援センター連絡会議、認知症地域支援推進員ネットワーク会議の開催【檜山】

##### ○医師・看護師など医療従事者確保に向けた取組の推進

- ・ 地域における看護師確保及び定着を図るため、セミナーを開催【檜山】
- ・ セミナー開催に係るポスター配布【檜山】

##### ○ライフステージに応じた子育て環境整備の推進

- ・ 渡島地区少子化対策圏域協議会における結婚支援ネットワークと地域との連携・情報共有の推進【渡島】
- ・ 小規模ファミリーサポートセンターの立ち上げなど、安心して子どもを産み育てて行くための各種助成制度等による支援【渡島】

##### ○障がい者などに配慮したバリアフリーレジャーの推進

- ・ 就労支援事業所等による授産製品の販売の場を設け、障がい者の社会参加と自立促進を支援【檜山】
- ・ 発達障がいのパネル展示やDVD放映など一般の方々への障がいに対する理解促進、障がい者福祉制度を周知・啓発【檜山】

# 地域で支え合う安全・安心なまちづくりプロジェクト

道南連携地域

## 今後の取組を進める上での主な課題

### ■防災体制の向上と安全・安心なまちづくりの推進

#### ○地域防災体制の強化と住民の防災意識の向上

- ・ 自主防災組織や地域防災マスターとの連携を図る必要がある【渡島】
- ・ せわすき・せわやき隊登録団体の増加へ向けた取組が必要【檜山】
- ・ 土砂災害警戒区域等の指定に向けては、住民説明会の実施と、関係市町の協力・理解及び関係住民の合意形成が必要【連携】

### ■道南の多様な魅力を活かした生活・定住環境づくりの促進

#### ○就業情報と生活・住宅情報を一元化して発信

- ・ 今年度を含めたこれまでの事業成果を基に、就業・定住促進対策連携支援協議会において医療・介護福祉人材の確保に向けた取組について再検討し、今後の事業継続の可否も含め、見直しが必要【渡島】

#### ○地域関係機関での移住・定住情報の共有

- ・ 移住・定住の推進を図るため、今後も関連施策、ローカルワーク情報など、情報共有、意見交換を継続的に実施することが必要【渡島】

#### ○地域包括ケアシステムの構築などによる高齢者福祉対策の推進

- ・ 地域包括ケアシステム構築に向けた取組については、各町でばらつきがあるため、町への働きかけなど、さらなる推進が必要【檜山】
- ・ H30からの新たな地域支援事業の取組状況については、各市町でばらつきがあるため地域での取組が推進されるよう、保健所等関係機関と連携し、各市町の地域特性に応じた支援を継続する必要がある【渡島】

#### ○医師・看護師など医療従事者確保に向けた取組の推進

- ・ 対象者(特に社会人)への効果的な周知広報が必要である【檜山】

#### ○ライフステージに応じた子育て環境整備の推進

- ・ 事業制度の周知を図るほか、事業実施市町への支援を行っていく必要がある【渡島】
- ・ 小規模ファミリーサポートセンターの立ち上げを含め、事業制度の周知を図っていく必要がある【渡島】

#### ○障がい者などに配慮したバリアフリーレジャーの推進

- ・ 一般の方々への障がいに対する理解促進、障がい者福祉制度を周知・啓発【檜山】

## 次年度の取組(令和2年度)

### ■防災体制の向上と安全・安心なまちづくりの推進

#### ○地域防災体制の強化と住民の防災意識の向上

- ・ 引き続き、地域防災体制の強化と住民の防災意識の向上を図る【渡島】
- ・ せわすき・せわやき隊登録団体の登録団体の開拓、隊員の加入促進及び活動の拡充・拡大のため、様々な機会を通じて、各町への働きかけを実施【檜山】
- ・ 引き続き、住民説明会を実施し、土砂災害警戒区域等の指定を行う【連携】

### ■道南の多様な魅力を活かした生活・定住環境づくりの促進

#### ○就業情報と生活・住宅情報を一元化して発信

- ・ (R1事業終了)

#### ○地域関係機関での移住・定住情報の共有

- ・ 市町と連携した首都圏でのイベント出展により、管内への移住・定住を促進するとともに、関連施策、ローカルワーク情報などの情報共有を継続的に実施する【渡島】

#### ○地域包括ケアシステムの構築などによる高齢者福祉対策の推進

- ・ 引き続き、町、保健所等の関係機関と連携し、地域包括ケアの推進を図る【檜山】
- ・ 管内市町の取組が推進されるよう、市町及び地域包括支援センター職員等の意見交換の機会や研修機会の確保を図る【渡島】

#### ○医師・看護師など医療従事者確保に向けた取組の推進

- ・ 地域における看護師確保及び定着を図るため、引き続きセミナーを開催(年2回予定)【檜山】
- ・ 対象者に対し効果的に周知されるよう、引き続きセミナー開催に係るポスターを4月から配布【檜山】

#### ○ライフステージに応じた子育て環境整備の推進

- ・ 引き続き結婚支援ネットワークを維持し、地域との連携・情報共有を行う【渡島】
- ・ 小規模ファミリーサポートセンターの立ち上げを含め、事業制度の周知を図る【渡島】

#### ○障がい者などに配慮したバリアフリーレジャーの推進

- ・ 就労支援事業所等による授産製品の販売の場を設け、障がい者の社会参加と自立促進を支援【檜山】
- ・ 発達障がいのパネル展示や檜山圏域障がい者が暮らしやすい地域づくり委員会の開催を行い、一般の方々への障がいに対する理解促進、障がい者福祉制度を周知・啓発【檜山】

## 【KPIの状況】

		H26(基準値)	H27	H28	H29	H30	H31(目標年)	進捗率
自主防災組織活動カバー率	(連携地域)	49%	54%	55%	57%	58%	81%	72.0%
	(渡島地域)	49%	55%	55%	57%	58%	81%	72.0%
	(檜山地域)	48%	53%	57%	57%	58%	81%	72.0%
		H26(基準値)	H27	H28	H29	H30	H31(目標年)	進捗率
ちょっと暮らしの利用者数	(連携地域)	153人	233人	191人	218人	222人	220人	100.9%
	(渡島地域)	61人	110人	109人	112人	94人	110人	85.5%
	(檜山地域)	92人	123人	82人	106人	128人	110人	116.4%

# 次世代に引き継がれる環境づくりプロジェクト

道南連携地域

## 【概要・目的】

道南連携地域は、三方を海に囲まれ複雑に変化に富んだ海岸や土地総面積の約8割を占める森林、ラムサール登録湿地に指定された大沼があり、多様で豊かな自然環境に恵まれています。地域の基幹産業である1次産業を支えるこれら森林や河川、海の環境を守りながら、風力やバイオマスなどによる再生可能エネルギーの活用等により環境を重視した持続可能な社会づくりをすすめ、多様性のある豊かな自然と人が共生した地域社会の実現をめざします。

## 【施策展開】

### これまでの主な取組実績

#### ■環境教育の推進

##### ○豊かな森林(もり)づくりのための木育活動の推進

- ・教育機関との連携を図るため、関係者からなる木育推進連絡会議の開催とその協議内容を踏まえた学校等への訪問によるPR活動の実施【連携】
- ・地域や学校での森林づくりや木材利用に関する体験学習の実施【連携】
- ・一般市民を対象とした「森への誘い講座」の実施【渡島】

##### ○檜山地域日本海グリーンベルト構想など、檜山の森づくり運動の展開

- ・檜山地域日本海グリーンベルト構想に沿った「檜山の森づくり植樹祭」をはじめとする管内で開催された植樹祭・育樹祭の支援(H29.9回、H30.10回)【檜山】

##### ○大沼の環境保全のための環境学習や啓発事業の実施

- ・一般住民を対象とし、保全すべき環境としての「大沼の環境」について啓発する事業を実施(トークセッション、写真展示、キーワードラリーなど)【渡島】

##### ○ヒグマやエゾシカなどの野生鳥獣に対する適切な情報発信

- ・一般住民を対象とした、「野生鳥獣の生態」等について啓発する事業を実施(ヒグマ・エゾシカに関する啓発パネル展)【渡島】
- ・ジビエ理解促進に向けたイベント実施(H31.1)【渡島】

#### ■自然環境の保全と再生可能エネルギーの利活用促進

##### ○離島における森林資源循環利用

- ・森林環境保全整備事業等により人工造林、下刈、間伐等を実施【檜山】

##### ○バイオマスなどの再生可能エネルギーの利活用の推進

- ・地域の関係者と連携して原料の安定供給体制の構築【檜山】

### 今年度の主な取組(令和元年度)

#### ■環境教育の推進

##### ○豊かな森林(もり)づくりのための木育活動の推進

- ・木育マスター道南支部や商業施設との連携による子育て世代やその子供たちへの木育の推進【連携】
- ・教育機関との連携強化による森林教室や教員研修【連携】
- ・児童館と連携し木育イベントを実施【渡島】
- ・一般住民を対象とした「森への誘い講座」の実施【渡島】

##### ○檜山地域日本海グリーンベルト構想など、檜山の森づくり運動の展開

- ・檜山地域日本海グリーンベルト構想に沿った「檜山の森づくり植樹祭inあさぶ」をはじめとする管内で開催される植樹祭・育樹祭の支援(10回)【檜山】

##### ○大沼の環境保全のための環境学習や啓発事業の実施

- ・一般住民を対象とし、保全すべき環境としての「大沼の環境」について啓発する事業を実施【渡島】

##### ○ヒグマやエゾシカなどの野生鳥獣に対する適切な情報発信

- ・一般住民を対象とした、「野生鳥獣の生態」等について啓発する事業(パネル展)を実施【渡島】

#### ■自然環境の保全と再生可能エネルギーの利活用促進

##### ○離島における森林資源循環利用

- ・森林環境保全整備事業等により下刈を実施【檜山】

##### ○バイオマスなどの再生可能エネルギーの利活用の推進

- ・木質バイオマス原料の安定供給に向けて、森林環境保全整備事業により間伐を実施【檜山】

### 今後の取組を進める上での主な課題

#### ■環境教育の推進

##### ○豊かな森林(もり)づくりのための木育活動の推進

- ・木育の活動を強化するためには、今後、さらに教育機関との連携、木育の指導者である木育マスター道南支部などとの連携を強化していくことが必要【連携】

##### ○檜山地域日本海グリーンベルト構想など、檜山の森づくり運動の展開

- ・地域住民の緑化意識の醸成【檜山】

##### ○大沼の環境保全のための環境学習や啓発事業の実施

- ・湖沼環境の保全には、水質ばかりではなく流域の環境を広く保全することが重要であり、これまで大沼の環境に対しあまり関心の無かった層に対し効果のある啓発を行なう必要がある【渡島】

##### ○ヒグマやエゾシカなどの野生鳥獣に対する適切な情報発信

- ・生物多様性の保全及び野生鳥獣の管理を推進するためには一般住民の理解と協力が不可欠であることから普及啓発内容及び実施場所の検討が必要【渡島】

#### ■自然環境の保全と再生可能エネルギーの利活用促進

##### ○離島における森林資源循環利用

- ・森林整備を推進し、森林資源の島内循環利用を促進させるためには、間伐や造林への支援が必要【檜山】

##### ○バイオマスなどの再生可能エネルギーの利活用の推進

- ・木質バイオマス原料の安定供給に向けて、間伐等森林整備の促進が必要【檜山】

### 次年度の取組(令和2年度)

#### ■環境教育の推進

##### ○豊かな森林(もり)づくりのための木育活動の推進

- ・教育機関との連携の強化や子育て支援における木育の推進、木育の指導者である木育マスター道南支部や商業施設との連携など、更に事業を推進【渡島】
- ・一般住民を対象とした「森への誘い講座」の実施【渡島】

##### ○檜山地域日本海グリーンベルト構想など、檜山の森づくり運動の展開

- ・檜山地域日本海グリーンベルト構想に沿った「檜山の森づくり植樹祭inいまかね」をはじめとする管内で開催される植樹祭・育樹祭の支援(予定12回)【檜山】

##### ○大沼の環境保全のための環境学習や啓発事業の実施

- ・「大沼の環境保全」の啓発事業を、内容の見直しの必要性等を検討し実施【渡島】

##### ○ヒグマやエゾシカなどの野生鳥獣に対する適切な情報発信

- ・道民ホールにおける啓発パネルを活用した普及啓発を継続して実施【渡島】

#### ■自然環境の保全と再生可能エネルギーの利活用促進

##### ○離島における森林資源循環利用

- ・森林環境保全整備事業等により人工造林、下刈、間伐等を実施【檜山】

##### ○バイオマスなどの再生可能エネルギーの利活用の推進

- ・木質バイオマスのエネルギー利用の推進に向けて、地域の関係者と連携して原料の安定供給体制の構築に取り組む【檜山】

## 【KPIの状況】

		H26(基準値)	H27	H28	H29	H30	H31(目標年)
道民との協働の森づくり事業参加人数	(連携地域)	5,800人	7,151人(87.2%)	7,793人(92.3%)	11,858人(144.6%)	8,448人(103.0%)	8,200人
	(渡島地域)	4,400人	5,649人(85.6%)	6,579人(96.3%)	9,439人(143.0%)	6,866人(104.0%)	6,600人
	(檜山地域)	1,400人	1,502人(93.9%)	1,214人(75.9%)	2,419人(151.2%)	1,582人(98.9%)	1,600人

## 振興局と町の協働による連携推進プロジェクト

## 【概要・目的】

檜山地域は、道内14振興局のうち最も人口が少なく、また小規模町のみで構成され、全国・全道を上回るスピードで人口減少・少子高齢化が進行しています。このような中、地域での自律・維持に向け、広域行政組織を核とした振興局と町による新たな連携に向けた取組を進めるとともに、管内の風光明媚な自然景観や文化歴史など、檜山の特色を活かし、新幹線開業に伴う首都圏などからの交流人口拡大を進めていくほか、日本海漁業をはじめとした1次産業の振興に向けた事業推進や、魅力あるまちづくりを目指し、連携した取組を進めます。また、町が将来にわたり地域行政サービスの維持・向上が可能となるよう、各町で人材不足にある技術専門職等の広域行政組織を通じた活用を検討するほか、振興局と町が相互に協力・補完しながら施策・事業を推進し、小規模自治体に対応した自治体連携の形成を目指します。

## 【施策展開】

## これまでの主な取組実績

## ■振興局と町の協力・連携による地域行政サービスの維持・向上

- 広域行政組織による振興局や各町の連携を推進するための仕組みの構築
  - ・滞在型旅行商品開発に係る戦略の点検、検証及び商品のPR活動
  - ・受入体制整備のための人材育成研修を継続して実施
  - ・ひやま食と観光フェアの開催など
- 市町村連携地域の形成に向けたモデル事業の実施
  - ・モデル地域内の住民相互の交流を深め、地域の連携を促進するため、各種スポーツイベントを実施
  - ・モデル地域のさらなる誘客促進を図るため、4町が連携する観光プロモーションの実施
- 道と町の共通類似業務の一体的実施に向けた調査・検討
  - ・法制執務、情報システム、産業医の3分野の取組について継続して実施
  - ・新たな協働について連携方策の検討
- 広域行政組織による専門職等の活用に向けた検討
  - ・町からの要望に引き続き検討

## 今年度の主な取組（令和元年度）

## ■振興局と町の協力・連携による地域行政サービスの維持・向上

- 広域行政組織による振興局や各町の連携を推進するための仕組みの構築
  - ・滞在型旅行商品の開発及び商品のPR活動
  - ・OTAふれあいフェスタ参加
  - ・ひやま食と観光フェア開催
  - ・受入体制整備のための人材育成研修
- 市町村連携地域の形成に向けたモデル事業の実施
  - ・教育振興推進事業
  - ・「食」と「観光」推進事業
- 道と町の共通類似業務の一体的実施に向けた調査・検討
  - ・3分野の取組を継続して実施
  - ・新たな協働について連携方策の検討
- 広域行政組織による専門職等の活用に向けた検討
  - ・専門職等の業務の一体的な実施について、町からの要望に応じて個別に対応

## ■振興局と町の協働による産業振興・交流人口の拡大

- 新幹線開業効果を活かした東京都特別区との交流連携の推進
  - ・滞在型旅行商品開発に係る戦略の点検、検証及び商品のPR活動
  - ・受入体制整備のための人材育成研修を継続して実施
  - ・ひやま食と観光フェアの開催など
- 振興局と町の協働による障がいのある方などに配慮したバリアフリーレジャーの推進
  - ・バリアフリーレジャー事業の実施
    - ①新たな観光資源の発掘とモデルルート構築への取組（モニターツアー実施）
    - ②先進地の取組などの情報収集と学習
    - ③受入体制の充実（講演会実施）
    - ④バリアフリーレジャー推進協議会を開催し、各町や関係団体、振興局の連携強化
- 交通アクセス向上に向けた振興局・町・交通事業者間の連携による広域観光の推進
  - ・ひやまの観光をみんなで考える会の開催による観光協会や交通事業者、関係者間の情報共有
- ICT（情報通信技術）を活用した特産品のPRなどによる販路拡大
  - ・ホームページ及びインスタグラムによるイベント、特産品の情報発信

## ■振興局と町の協働による産業振興・交流人口の拡大

- 新幹線開業効果を活かした東京都特別区との交流連携の推進
  - ・滞在型旅行商品の開発及び商品のPR活動
  - ・OTAふれあいフェスタ参加
  - ・ひやま食と観光フェア開催
  - ・受入体制整備のための人材育成研修
- 振興局と町の協働による障がいのある方などに配慮したバリアフリーレジャーの推進
  - ・振興局、各町及び関係機関の連携を図るため、引き続き協議会を開催
  - ・道内外のイベントにてPR活動等を行い、障がい者等の観光客増加を図るとともに、知名度の向上による交流人口の拡大を図る
  - ・「地元観光体験型の講演会」や「旅行観光サービスと介護福祉サービスの知識・技術取得講座」を開催し、地域が継続して障がい者等を受け入れていくための意識醸成と観光・福祉に精通した人材育成
- 交通アクセス向上に向けた振興局・町・交通事業者間の連携による広域観光の推進
  - ・「ひやまの観光をみんなで考える会」の開催による観光協会や交通事業者等関係者間の情報共有
- ICT（情報通信技術）を活用した特産品のPRなどによる販路拡大
  - ・ホームページ及びインスタグラムによるイベント、特産品の情報発信

# 振興局と町の協働による連携推進プロジェクト

檜山地域

## 【施策展開】

### 今後の取組を進める上での主な課題

#### 【課題】

- 広域行政組織による振興局や各町の連携を推進するための仕組みの構築
  - ・地方創生交付金事業終了後の事業継続に向けた合意形成
- 市町村連携地域の形成に向けたモデル事業の実施  
(教育振興推進事業)
  - ・各種事業開催日の重複開催を避ける調整(重複してしまう場合がある)
  - ・事業推進に向けた合意形成
  - (「食」と「観光」推進事業)
    - ・域内事業者間の連携やつながりのさらなる推進
    - ・4町事業者の意見を取り入れた、連携した取り組み
    - ・民間事業者の持続可能な仕組みや体制整備の推進
- 道と町の共通類似業務の一体的実施に向けた調査・検討
  - ・市町村協働ガバナンス事業の推進に向けた合意形成
- 広域行政組織による専門職等の活用に向けた検討
  - ・各専門職等の業務を所管する本庁、振興局関係部署との調整

### 次年度の取組(令和2年度)

- 広域行政組織による振興局や各町の連携を推進するための仕組みの構築
  - ・広域連携の促進に向けた新たな取組の検討
- 市町村連携地域の形成に向けたモデル事業の実施
  - ・教育振興推進事業の実施
  - ・「食」と「観光」推進事業の実施
- 道と町の共通類似業務の一体的実施に向けた調査・検討
  - ・3分野の取組を継続して実施
  - ・新たな協働について連携方策の検討
- 広域行政組織による専門職等の活用に向けた検討
  - ・新たな協働について連携方策の検討

#### 【課題】

- 新幹線開業効果を活かした東京都特別区との交流連携の推進
  - ・広域連携事業推進のための仕組みづくり
- 振興局と町の協働による障がいのある方などに配慮したバリアフリーレジャーの推進
  - ・事業の成果や得られた知見や課題等について、取りまとめ、関係者で共有
  - ・モニターツアー実施前に関係者研修を行うなど、効果的な事業の実施に配慮
  - ・施設等のバリアフリー化情報の発信や個々の事業実施状況などについて、随時、発信
  - ・観光施設等の受入技術の向上や意識醸成などソフト面の充実
  - ・町の観光資源等の状況に合わせた取組を進めるため、町と意見交換などにより、柔軟な課題設定や対応の方向について助言
- 交通アクセス向上に向けた振興局・町・交通事業者間の連携による広域観光の推進
  - ・地域の特性を活かした着地型観光の推進による受入体制の整備
- ICT(情報通信技術)を活用した特産品のPRなどによる販路拡大
  - ・ホームページやインスタグラムによる情報発信効果の波及、発展

- 新幹線開業効果を活かした東京都特別区との交流連携の推進
  - ・広域連携の促進に向けた新たな取組の検討
- 振興局と町の協働による障がいのある方などに配慮したバリアフリーレジャーの推進
  - ・推進協議会の開催(地域が一体となって事業を実施するため、振興局、各町及び関係機関が共通の認識・連携を図るよう引き続き開催)
- 交通アクセス向上に向けた振興局・町・交通事業者間の連携による広域観光の推進
  - ・引き続き、観光の取組のきっかけづくりの推進
- ICT(情報通信技術)を活用した特産品のPRなどによる販路拡大
  - ・HP及びインスタグラムによるイベント、特産品の情報発信

## 【KPIの状況】

		H26(基準値)	H27	H28	H29	H30	H31(目標年)
振興局と町の協働連携事業	(檜山地域)	-	2事業	5事業	5事業	5事業	5事業
観光入込客数	(檜山地域)	100万人	102万人	106万人	102万人	115万人	120万人